



# 学校コンピュータ

2009年(平成21年)12月18日発行

393号付録

少年写真新聞 株式会社 少年写真新聞社

〒102-8232 東京都千代田区九段北1丁目9番12号 URL <http://www.schoolpress.co.jp/>

© 少年写真新聞社 2009 年 ※著作権法により、本紙の無断複写・転載は禁じられています。

★定期刊行物は終わる期間を予定していない刊行物ですから、年度が変わりましても購読中止のお申し出がない場合、引き続きニュースをご送付申し上げます。

情報教育  
シリーズ

## コピー＆ペースト(コピペ)と引用という文章技術

国立情報学研究所 学術コンテンツ課長 米澤 誠

### コピペレポートの問題点

まず、コピペの最大の問題点は、コピペというまる写し行為により、子どもたちが「思考停止」になってしまうことでしょう。他人の意見を書き写して自分の意見にすることにより、自分自身の意見を明確にするという思考のプロセスがなくなってしまうからです。自分の意見を意識的に書くということは、自分の意見を考えるということと表裏一体のものなのです。

次の問題点は、事実もしくは他人の意見と自分の意見を区別するという、学問における基本的姿勢が欠落してしまうことです。これは、大学生以上になると強く求められる姿勢であり、これからは小中高生の時点から身につけることが望ましいと考えています。

最後の問題点は、他人の意見<sup>ひん</sup>を剽窃<sup>ひん</sup>するという行為に潜む、モラルの低下でしょう。剽窃は著作権を侵す行為であるということを知らず、そのような行為を続けることによりモラルが欠如することになります。この時点で、子どもたちに著作権を意識させる必要はありませんが、自分がカンニングのような行為をしているということを自覚させる必要はあるでしょう。

### 自他を区別する文章技術

それでは、実際コピペをなくすにはどうしたら良いのでしょうか。それは、事実もしくは

は他人の意見と自分の意見を、明確に区別して書かせるということなのです。

そのためにはまず、事実もしくは他人の意見は「客観的文章」で書く、自分の意見は「主観的文章」で書く必要があります。つまり、前者では「です」「といいます」、後者では「思います」「考えます」という文末表現を使うように指導するのです。子どもたちにこのことを意識させるだけでも、格段に文章力は高まるはずです。

文章表現で自他の意見を区別すると共に、引用という手法を使うことも有用です。ホームページや図書に書かれていた文章を、括弧(「」)で囲って書くだけで良いのです。これは一種のコピペのようですが、このような書き方をすることにより、著作権を侵すことなく正當に、事実もしくは他人の意見を自分の作文の中に使うことができるのです。

そしてさらに重要なのは、引用元の情報(作者の名前や題名、サイトの名称)を明記することです。丸谷才一氏は次のように述べています。「西洋では、人の意見を紹介するときクレジットをつけることが風習となっているでしょう。ところが、日本にはそういう風習がない」。1)

丸谷氏の述べるように、クレジットすなわち引用元の情報を明記することは、学術情報における基本的作法であり、引用の仕方と併せて指導すべき事柄でしょう。出典(出所)は、本文中に明記する方法もありますし、作文の

文末にまとめて記述する方法もあります。

### 調べ学習における情報源

さて、調べ学習においては、なるべく公に刊行された資料を使うことが重要です。官公庁が刊行する白書や大学が発行する報告書などは、従来はもっぱら印刷物でしたが、最近ではウェブサイト上でPDF版として刊行される場合も多くなってきました。これらの学術的で信頼できるウェブサイトの情報は、積極的に活用すべきでしょう。

一方、個人のブログや個人のウェブサイトは、多くは匿名で情報の信頼性が低く、学術的・教育的ではありません。一見学術的に見えるWikipediaにしても、その情報の出典が明らかでない場合が多く、説明自体も理解しやすいものではありません。このようなウェブの情報源は、学習においては絶対使わないよう指導するべきでしょう。

そして、信頼できるウェブサイトの情報を

使う場合でも、先に述べた引用の手法を使い、事実や他人の意見と、自分の意見を明確に区別して書くことが重要です。この手法を繰り返すことにより、子どもたちはコピペに頼ることのない文章技術と、他人の意見を参考にして自分で思考する力を身につけることができるのです。

(1) 丸谷才一、『思考のレッスン』、文春文庫、2002年

### 写真ニュースクイズの答え……②

必然性があれば、他人の文章の一部を引用として使えます。その際、引用元を示す必要があります。

